

データ共有WG

がん全ゲノム解析等連絡調整会議

資料

令和2年9月25日

3-4

◎油谷浩幸、井元清哉、柴田龍弘、小川誠司、加藤護、浦上研一、宮野悟
森誠一、河野隆志、白石友一、白神昇平

| 主な検討事項 | |
|--------|------------------------------------|
| 1 | ○データ等の管理・運営体制の在り方について検討 (進行中) |
| | ○データの二次利活用の制度を整備、構築する (進行中) |
| 2 | ○産学連携体制・情報共有体制の構築に向けた検討 |
| 3 | ○データセキュリティについて世界的な標準化の動きと整合するルール策定 |

WG内での検討内容

- がん全ゲノム情報共有に関する国際動向について
- がん全ゲノム情報共有に関する国内の取り組みについて
- がん全ゲノム情報共有に向けて創薬の観点から
- がん全ゲノム情報共有とスパコン連携について
- がん全ゲノム情報共有とクラウド環境について
- がん全ゲノム情報共有と臨床情報収集について

現在までの進捗

1. データ等の管理・運営方法の在り方について
2. データの二次利活用制度の整備・構築
 - データ登録可否についての同意の確認
 - 先行解析において使用を予定している既存検体に関してゲノム解析およびデータ公開に関する同意の確認
 - クラウドあるいはスパコン上でのデータ解析
 - セキュリティに関する認証
 - 秘匿性の高いデータの格納については別途要検討
 - ゲノムデータおよび付随臨床情報の共有
(プロジェクト参加者の事前合意前提)
 - 臨床情報の更新

今後の論点

- がん全ゲノム解析等推進体制の構築
 - プロジェクト全般の進捗管理
 - データ解析担当者の充実
 - 計算機環境の構築
 - データセキュリティ
 - データ管理のための安定的な人員の確保
- データ公開ルールの策定
 - 一次解析データ（配列データ）*
 - 二次解析データ（統合解析）
 - 各がん腫別プロジェクト間でのデータ共有 横断的な解析
- データ二次利活用（学術および産業利用）
- 非制限データに関するデータポータル
 - 例) TCGAのcBioPortal

* 米国TCGAでは配列データへのアクセスは研究機関からであれば申請できるが、grace periodとして2年間はマルチオミックスデータの論文化はできない。単一オミックスデータは利用および投稿可能